

2. 指標設定

成果指標	指標名	教育活動の充実		目標年度	指標の設定理由			
	数値	-			豊かな心や感性豊かな子どもの育成のため、教育活動の充実をはかる			
活動指標	指標	a	図書購入費	b	教材費(理科設備含む)	c		d
	数値	目標	-	目標	-	目標		目標

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H22	H23	H24
教育活動の充実		-	-	-
		-	-	-

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 図書購入費	千円	4,764 千円	2,523 千円	2,423 千円
b 教材費(理科設備含む)	千円	4,940 千円	8,396 千円	2,790 千円
c		-	-	-
d		-	-	-

4. 課題と対応

課題
教育課程実施に必要な備品購入等に多額の予算が必要となる
対応(改善点等)
学校支援センター機能を活用し、複数年計画をもとに一括購入・共同購入を検討する。

5. 事業費・・・H22～H24(決算額)、H25(予算現額)

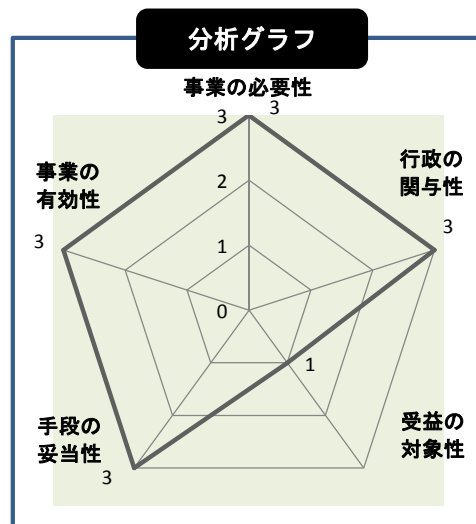
決算額(千円)		H22	H23	H24	H25
		27,115	29,515	34,901	26,966
うち経常経費		22,481	22,195	33,765	25,808
財源内訳	国費	2,061		402	511
	県費	994	375	125	130
	市債				
	その他				
	一般財源	24,060	29,140	34,374	26,325
うち経常		22,481	22,195	33,765	25,808
事業費に係る人件費		4,161	4,300	2,147	2,397
事業費に係る人役		0.95	1.00	0.50	0.55

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
学習指導要領に基づく指導を実施するための予算であり必要であるが、精査は必要である

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 学習指導要領に基づく事業や基礎学力、基礎体力、豊かな人間性を育てる事業は必要
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 中学校に限定される
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 手段は妥当である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 限られた予算の中で成果をあげている



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き経費削減に努め、目標達成を図ること。